

ダイヤル式クレセント取扱説明書

このたびは、「ダイヤル式クレセント」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

■ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解になったうえお使い下さい。

■お読みになった後も、この説明書はいつまでも使用できるように大切に保管して下さい。

■絵表示について

本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

！注意 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。

お願い 「必ず行なっていたく事」を示しています。

1 施錠方法

サラがウケにかかった状態で、ダイヤルを任意の位置に一回転以上回転させると施錠されます。

サラがウケにかかっていない状態で、ダイヤルを任意の位置に回転させてしまった場合は、ハンドルを操作し、サラがウケにかかった際に自動施錠となります。施錠後ダイヤルを一回転以上回転させて下さい。

！注意 ハンドルを完全に回さないで施錠されません。

2 解錠方法（解錠Noが「6」と「6」と「1」の場合）

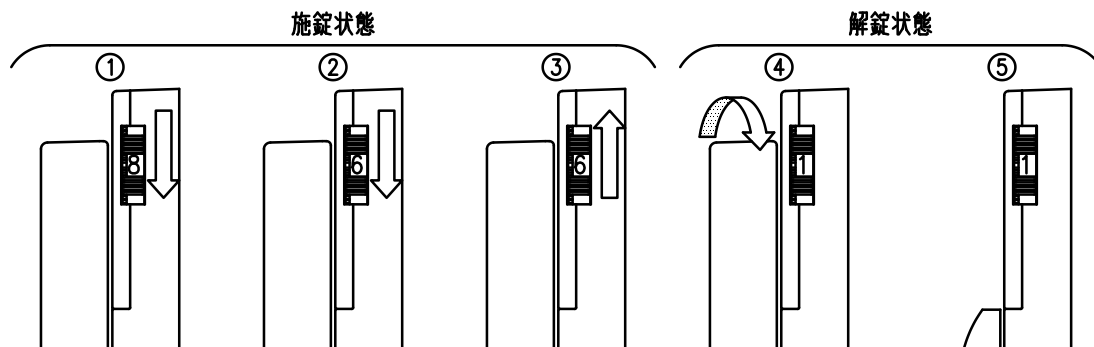
ダイヤルを下方向に回転させます。

1回目「6」に合わせます。更に下方向に回転させます。

2回目「6」に合わせます。次に上方向に回転させます。

「1」に合わせます。この時点で解錠となり、ハンドルが回転可能となります。

サラをウケから解除します。



3 ダイヤル設定方法（下記説明図は「6，6，1」から「3，3，6」への変更方法を例示しています。）

本品は出荷時に設定番号差は固定となっています。従って設定できる番号は下表のようになります。

出荷時は「6，6，1」に設定してあります。

1回目合わせ	5	4	3	2	1	8	7	6	
2回目合わせ	5	4	3	2	1	8	7	6	
3回目合わせ	8	7	6	5	4	3	2	1	設定する側の番号

解錠状態で設定します。

ダイヤル側のビスカバーを外し、ダイヤルを引っ張り台座より引き出します。

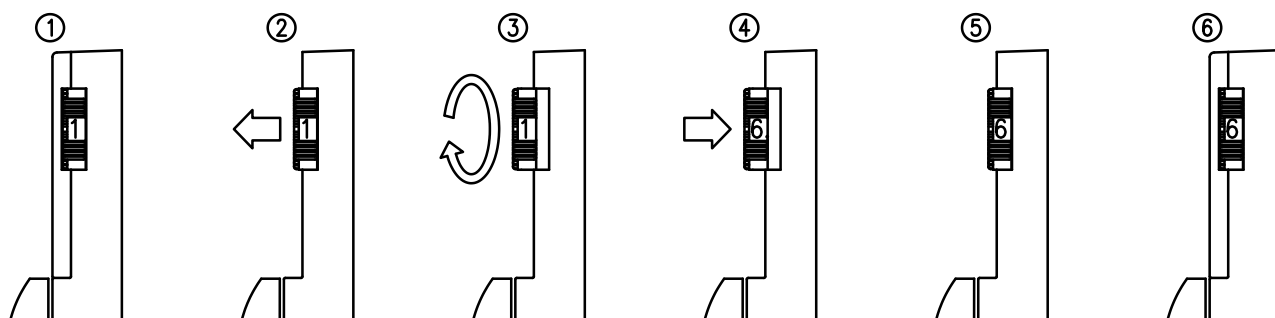
ダイヤルを回転させ、設定したい番号が台座側面から見える位置に合わせます。（この場合「6」）

ダイヤルを合わせた後、ダイヤルを押し込み、元に戻します。

ダイヤルの設定は終了です。

ビスカバーを取付けます。

設定を可変できるのは3回目に合わせる番号です。



！注意 製品の分解、改造は行わないで下さい。

！注意 ダイヤルの設定中にハンドル操作は行わないで下さい。

お願い 防犯上、設定番号は定期的に変更して下さい。設定番号は忘れないようご注意願います。